

全国 検数労連

468号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



～職場の声を集め、要求実現へ～

第66回 全国検数労連中央委員会開催

1月29日(木)～30日(金)シーパレス日港福において、中央委員、オプザーバーを含め全体で33名の参加のもと、第66回全国検数労連中央委員会が開催され、活発な議論のもと、14冬季一時金総括と15春闘要求が確立されました。

14秋越年闘争総括

昨年秋に行われた定期大会以降、全国港湾の産別中央行動(ユーズー・行政・政党申し入れ等)や、14冬季一時金交渉の経過報告を行いました。各地域からの意見では、一時金について金額は一定の評価は出来るものの、意見が多かったものの、プラスα回答部分の割合が大きくなってきているとの意見が出されました。

また、各地域での取り組みでは今年の秋に開催された東京港シンポジウムの報告と全国の協力に対するお礼や、川崎港での完成車の輸出港がシフトされる問題などが意見としてだされました。検数労連でも、一時金

については引き続き内部議論をしていく事と、産別等の動きについては、地域や中央との連携を図って行動していく事をもって、全体の拍手で承認されました。

15春闘方針

消費税増税や円安に伴い物価が上昇してしまっています。しかし、賃金は上がりませんが、実質賃金は16ヶ月連続でマイナスとなっています。15春闘では「これ以上の実質賃金の低下

は断じて認められない」との思いを共有し、「ベアスアップにこだわり、実質賃金を改善するための大幅賃上げを求めて闘いましょう。」「賃上げこそ暮らしと経済再生のカギだ」との立場で要求を積極的に掲げ、たたかいを強め、共同を広げて前進を勝ち取りましょう。

15春闘でも「産別共闘」

検数労連では15春闘においても理論モデル本給(18才16万円対60才40万円)に沿って、時間外に依存しない賃金体系の確立を求め、一律2万円の要求を掲げました。



具体的な進め方

15春闘を進めるにあたり、これまでの春闘の進め方として、具体的に12春闘では「未解決組合共闘」、13春闘では「職種共闘」、14春闘では過去2年の経験を引き継ぐ形で港湾産別に結集する単組による「産別共闘」という形で組織して、賃上げを前進させてきました。

15春闘でも「産別共闘」に結集し、内部組織間の信頼を発展・強化しながら、闘争期間中に適宜、産別単組間での賃上げ確保に向けた対応をはかっていきます。

15春闘に積極的に参加しよう

アベノミクスの本質は、働く人々や地域社会を犠牲にしつつ、グローバル大企業の利益に全面奉仕する国家改造です。派遣法の大改悪法案は、これまで労働組合の団結の力で2回にわたり廃案にしました。しかし「残業代ゼロ」などの労働法制の大改悪が狙われています。いま、職場では人員不足で長時間労働が蔓延するなど「働くル

ール」が形骸化されています。労働法制の大改悪を阻止し、働くルールを確立して、安心して働ける職場をつくるために、職場の組合員も15春闘に積極的に参加しましょう。

15春闘 当面の日程

- 2月4日(水) 第一回 中央港湾団交 (要求書提出)
- 2月5日(木) 第一回 検数労連14春闘交渉 (要求書提出)
- 3月5日(木) 3. 5 15春闘 東京港総行動 (海上デモ)